

# 保護者交流会だより 第7号

## 『教育後援会のご案内』

保護者交流委員会：委員長 西尾 陽子（保護者）

保護者の皆さま、こんにちは。

教育後援会では、保護者の皆さまへの交流支援として講演会や見学会などの『保護者交流会』を年4回開催し、保護者相互の親睦を図ると同時に学長はじめ大学教職員との交流の場を持ち、保護者と大学との懸け橋となるべき支援を行っています。

昨年は『あなたも「ドクターX」楽しく医療体験を！』『世界文化遺産 西本願寺と水木しげる魂の漫画展』『Japanese Sake !!』『市大植物園 満喫!!』を企画し、参加された皆さまからは大変好評をいただきました。

本年度も、交流委員で意見を出し合って趣向を凝らした企画をたてましたので、是非ともご参加くださいませ。

学生の皆さまへの支援としては、『学研災』『付帯賠償』保険の加入料全額負担、優秀な学業成績や成果を収めた学生への表彰、英語力検定試験（TOEIC・TOEFL・IELTS）の受験料補助（年2回まで可能）、学会発表等に要する旅費の補助、一昨年度より継続して行っております「100円朝食」の実施、クラブ・サークルへの強化育成の為の諸経費の支援、また特別支援としては、第2学生ホール談話室の間仕切りと改装、大音楽練習室防音扉設置工事を支援する等、学生の皆さんからの『必要な声』を聞き、年々その支援を拡げております。

未来ある市大生の社会性・人間性を育むために全力でサポートしていくのが『教育後援会』です。

保護者の皆さまには一層のご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

## 保護者交流会への参加を希望される方へ

【参加申込について】①申込フォーム ②メール ③FAX のいずれかでお申込みください。

①申込フォームでの申込：右記のQRコードからWebにアクセスして各項目を入力してください。

（各項目を入力、「申込み」をクリック、画面が変わったら「OK」をクリック、完了）

②メールでの申込：送信先 j-kouryu@osaka-cu.com

③FAXでの申込：FAX番号 06-6605-3423 \*応募締切日 2019年4月19日(金)到着分まで



### 【②・③での申込記載事項】

・参加企画 第1希望名 第 企画  
〔企画番号を〕 第2希望名 第 企画  
〔ご記入下さい〕 第3希望名 第 企画

・学生氏名(フリガナ)

・入学年度

・学部名

・学科名 理系(理・工・医・生科)のみ記入

・参加保護者氏名①(フリガナ)

・参加保護者氏名②(フリガナ)

\*1企画につき保護者2名まで参加できます。

・自宅電話番号／携帯電話、FAX(ある場合のみ)

・住所

・メールアドレス

### 【参加者の決定について】

・参加申込の受付結果は5月中旬頃に連絡します。

・各企画への希望者が定員を超える場合は、抽選により参加者を決定させていただきます。

・参加決定通知後、やむを得ず欠席する場合はお早めにお知らせください。(抽選にはずれた方に参加いただくためご協力をお願いします。)

・参加決定後、欠席等で定員を割った場合は、別途、教育後援会より抽選漏れ等の方に連絡する場合があります。

【お問合せ】教育後援会事務局 TEL:06-6605-3420

E-mail: j-kouryu@osaka-cu.com

応募の情報は他に利用いたしません。

【お願い】 結果等の連絡は、メールアドレスを記入された方にはパソコンから一斉送信により行いますので、受信拒否設定をされている方は受信リストに「j-kouryu@osaka-cu.com」を登録しておいてください。

## 第1企画 「驚きの匠の技！」

～日本唯一の大工道具館にて～

緑豊かな敷地内に佇む和の空間「竹中大工道具館」。手道具としての大工道具を民族遺産として収集・保存した日本唯一の大工道具博物館です。大工道具や建築模型等、展示品は約1000点。館スタッフのガイド付きで見学します。

後半は、名誉教授の谷直樹先生が「天下人の城大工」と題して、信長・秀吉・家康のお抱え大工棟梁について語って下さいます。「道具館」で見学した様々な大工道具を、当時の大工たちはどのように使って巨大な天守を造ったのか。現在はほとんど滅びてしまった木造の技術と組織を紹介して頂きます。さらに現存する天守と、失われた天下人の天守（大坂城・二条城・江戸城）を比較して、その壮大さを実感するのも、歴史好きの方には魅力です。

昼食はbuffetスタイルで和やかに。楽しいひと時を過ごして頂けると幸いです。



【日時】2019年6月15日(土)10:00～15:00

【集合場所】竹中大工道具館

神戸市中央区熊内町7-5-1

神戸市営地下鉄「新神戸駅」徒歩3分

【定員】40名

【参加費】2,500円

(ANAクラウンプラザホテル神戸

buffet形式の昼食付)

【スケジュール】

- ◆ 9:30 受付開始
- ◆ 10:00 館内見学（館スタッフによる解説付）
- ◆ 11:50 講演：「天下人の城大工」  
講師：谷直樹先生  
(大阪市立大学 名誉教授)
- ◆ 13:30 昼食・懇親会
- ◆ 15:00 閉式



## 第2企画 市大で考える「防災」・市大を観る歩く「キャンパスツアー」

昨年は地震や豪雨など災害の多い一年でした。

大阪は、古くから水運を活用しその恩恵を受け発展してきましたが、そこには恵まれた立地条件と難波堀江開削以降、大和川、淀川などの自然を絶え間なく改変してきた歴史があります。東日本大震災、熊本地震など、今まさに地震は活動期です。確実にやってくる南海トラフ地震・上町断層地震の前に、都市地質工学の視点から、大災害時代を生き抜く視点について、原口強先生に解説していただきます。

そして、杉本キャンパスには、昭和初期の最先端のデザインが今も現役。御堂筋の拡幅、御堂筋線の開通と並び、大大阪時代の構想力の大きさが伝わる場所です。

キャンパスツアーでは、『大阪建築 みる・あるく・かたる』など多数の著書もお持ちの倉方俊輔先生に、建築から大阪市立大学の素晴らしさを説明していただきます。

登録有形文化財となっている1号館では、普段入ることのできない塔の内部も見学できます。



【日時】2019年10月5日(土)10:00～14:30

【集合場所】大阪市立大学学術情報総合センター

1階文化交流室

大阪市住吉区杉本3-3-138

JR阪和線「杉本町駅」徒歩5分

大阪メトロ御堂筋線「あびこ駅」徒歩15分

【定員】50名

【参加費】1,000円(昼食付)

【スケジュール】

- ◆ 9:30 受付開始
- ◆ 10:00 講演：「東日本大震災・熊本地震に学び大阪の地震災害に備える」  
講師：原口強先生  
(大阪市立大学理学研究科 准教授)
- ◆ 11:15 キャンパスツアー  
「大阪市大をもっと好きになる建築案内」  
講師：倉方俊輔先生  
(大阪市立大学工学研究科 准教授)
- ◆ 13:00 昼食・懇親会
- ◆ 14:30 閉式

※各企画ともに、参加お申込者数が定員を超えた場合は、抽選となりますので、予めご了承ください。

### 第3企画 上方文化を学ぶ「大阪が愛し育てた文楽と落語」

万博の開催が決まり 海外から大阪の街や伝統文化にも注目が高まっています。

大阪市立大学では 大阪の伝統芸能を学ぶ公開授業として、文楽に関する「上方文化講座」(文学部)と落語に関する「大阪落語への招待」(全学共通教育)を毎年開講しております。どちらも 受講希望者が定員を超える大人気の講座です。今回は、この二つの講座にちなんで、両講座の担当教員を招き、文楽と落語についてわかりやすく解説していただきます。

#### 【第一部】

「人形浄瑠璃文楽への招待」文学研究科の久堀裕朗先生に伝統芸能としての文楽の特徴とその魅力について、映像を交えながらお話しをしていただきます。

#### 【第二部】

落語家の桂春雨師匠(文学研究科客員教授)に、落語の基礎や大阪落語の特徴などについてお話しをしていただくとともに、第一部との関連で、浄瑠璃に関わる内容の落語を実演していただきます。また、春雨師匠と落語研究会の学生達がコラボする楽しい特別企画もご覧いただけます。

今後の鑑賞がより楽しくなる大人のための講座です。

是非ご参加ください。



【日時】2019年10月12日(土)13:00~16:30

【集合場所】大阪市立大学学術情報総合センター  
10階大会議室

大阪市住吉区杉本3-3-138

JR阪和線「杉本町駅」徒歩5分

大阪メトロ御堂筋線「あびこ駅」徒歩15分

【定員】100名

【参加費】1,000円(懇親会軽食付)

【スケジュール】

- ◆12:30 受付開始
- ◆13:00 講演:「人形浄瑠璃文楽への招待」  
講師:久堀 裕朗 先生  
(大阪市立大学文学研究科 教授)
- ◆14:00 落語:桂 春雨 師匠  
(大阪市立大学文学研究科 客員教授)
- ◆15:00 懇親会
- ◆16:30 閉式

### 第4企画 おとなの空港見学「伊丹空港探検!!」

現在大阪国際空港(伊丹)は、2020年に向け、大規模改修中です。日々、魅力に満ちたエアポートへとエキサイティングに変わりつつある伊丹空港で、晩秋の一日をお過ごしになりませんか?

まずは、日本航空と全日空のご協力により、まず地上で航空機の安全運航を支える各業務の説明を日本航空から頂きます。出発ゲートや出発便荷さばき場等の見学をし、日頃知りえる機会のない搭載や誘導業務についてもご紹介頂きます。

お昼のひとときを含め後半は、全日空現役パイロットとキャビンアテンダント(市大卒業生/保護者)の乗務員の方々にご参加頂き、空の業務についてご紹介頂きます。

また、参加者の皆様からの質問にもお答え頂きながら、充実かつ和やかな時間をとらせて頂きます。

航空業界の仕事は一見華やかな世界に見られがちですが、「地上」と「空」のお互いの信頼のもと、地道な努力と緊張感、そして細やかな心遣いの積み重ねでなりたっていることの舞台裏にふれられることでしょう。

この一日で、きっと空の旅がもっと興味深く楽しくなるに違いありません。

アテンションブリーズ!ご参加お待ちしております。

※当日の天候・空港改修工事や担当予定者の業務状況により内容変更もあり得ることを予めご了承ください。

【日時】2019年11月30日(土)10:00~15:00

【集合場所】大阪国際空港(伊丹空港)1階

JAL出発ロビー

団体受付カウンター ステージ前

豊中市蛸池西町3-555

・各主要駅からの大阪国際空港行きバス

・大阪モノレール「大阪空港」

阪急電鉄宝塚線「蛸池駅」で大阪モノレール  
に乗り換え

【定員】40名

【参加費】1,500円(昼食付)

【スケジュール】

- ◆9:30 受付開始
- ◆10:00 オリエンテーション/地上説明
- ◆11:00 出発ゲートなどの見学
- ◆13:00 昼食・懇親会  
乗務員の業務紹介等を交えての懇親会
- ◆15:00 閉式





## 『あなたも「ドクターX」楽しく医療体験を！』に参加して

AED講習会では学生さんがマンツーマンで付き添って下さり、大学での様子も教えて貰いながら、肋骨が折れる事もある！という話にびっくりしつつ頑張りました。心臓マッサージにあれほど力があるとは思っていませんでした。エコー検査では画面上で臓器の位置確認をし、名称・機能・役割等をゲーム感覚で覚えていき楽しかったです。首藤先生の講演は、学生さんたちに『医者として何が大切か』という事を寸劇を交えて楽しく、また厳しく授業されているのだという事を実感させられるものでした。懇親会では他学部の保護者の方々ともお話し出来、とても充実した一日でした。参加させて頂き本当に有難うございました。

(理学部保護者 中川 正美さん、工学部保護者 宮井 育子さん)



## 『「世界文化遺産 西本願寺」と「水木しげる 魂の漫画展」』に参加して

西本願寺は、家から車で約10分、高校は本願寺系で学校行事など何度も訪問していましたが「近くて遠い世界遺産をちゃんと見てみたい!」と参加。まず本殿でのご話。「“お寺に訪問する”ということはどういうことか?」は考えたことがなく、目から鱗の気づきがありました。

この後、国宝書院を特別参拝。「お寺にこんな装飾があるなんて!」と、ただただ感動。描かれているものを解説いただく中で、印象的だったのは、有名な虎の間。当時、日本には虎がいなかったのにどう描いたのか。お客様をお待たせする間の天井は、すべて異なる花が描かれ、飽きさせない気遣い。書物保管場所は、書物をかじるネズミから守るよう猫の絵。

能舞台は、雨でも能が舞える工夫。お寺をこんなに鑑賞したのは初めてでした。

記念講演「おかげさまと日本人」では金児先生の「自分の顔は他人のためにある」「オカゲ意識」のお話で、日常で忘れていたことを思い出したように感じました。

最後は「ゲゲゲの鬼太郎」作者 水木しげる特別展。意外にも幼少時の絵画に感動しました。好天に恵まれ、秋を感じるお弁当を食べながら保護者の方とも交流でき、楽しい一日でした。

参加させていただき、ありがとうございました。

(経済学部保護者 奥田 加奈子さん)



## 『Japanese Sake !!』に参加して

見事な秋晴れの中、三つの造り酒屋さんを訪れました。「灘五郷」一度は行ってみたいと思いながら、訪れたのは今回が初めてでした。

菊正宗さんでは壁一面ほどある大きな古い看板や見覚えのあるポスター、実際に使われていた酒造用具を見ながら、杉玉の意味や値段といった初歩的なことからお酒ができるまでを教わりました。櫻正宗さんでは、デザートにまで酒粕を使ったお料理を堪能し、浜福鶴さんでは名物案内人のおじさんが仕込み歌まで歌って下さいました。もちろんそれぞれの試飲・試食コーナーも満喫してまいりました。また、イヤホンガイドを通じて古野先生より、道中では景色を見ながら町としての歴史、講演では手作り資料「酒造のまち 灘五郷」を基に日本酒の種類や歴史まで詳しく教わり、とても勉強になりました。

交流会初参加だったのですが、他学年、他学部の保護者の方々と交流することもでき、とても充実した一日でした。ありがとうございました。

(生活科学部保護者 花澤 淳子さん)



## 『市大植物園 満喫!!』に参加して

当日は、お天気も良く暖かくて絶好の植物園日和でした。理学部植松先生の講演会で、絶滅危惧種の昆虫を運が良ければ見ることができると仰られていたので、印象に残りました。また園内を植物園職員の方による様々な植物の説明を聞きながら散歩しました。ここには、ソメイヨシノは一本も植えられておらず、日本の中でもとても珍しい緑色の桜が四月になればみられること、桂の葉はハート型で甘い香りがするなど話して下さいました。

色づいた見頃の紅葉のほかには、台風21号の被害があちこちで見られました。特に、大木が倒れ「根がえり」と言われるめったに見られない根っこが見えている状態は、自然災害の怖さを感じました。まだまだ見学が出来ない所もあり残念でしたが、1日でも早く再開出来るよう、職員の方々が日々手入れされています。懇親会では参加された保護者の方と色々お話しできて良かったです。

京橋から40分ほどで植物園に行け、思ったより近くて、リフレッシュもでき、また行きたくなる所でした。ありがとうございました。

(医学部看護学科保護者 西森 郁代さん)

